身体的拘束最小化委員会

看護師長　小泉 千秋

1. 身体的拘束最小化委員会の目的・方針

目的

身体的拘束は,患者の自由を制限し,尊厳ある生活を阻むものである.

本委員会は拘束を安易に正当化することなく患者の尊厳を守り,安全で質の高いケアを提供しながら職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解するとともに,拘束を最小化する体制を整備し拘束に依存しない医療・看護サービスの充実を図ることを目的としている.

基本方針

身体的拘束を原則として行わないことを基本方針とする,やむを得ず身体的拘束を実施する場合には,当院の「身体的拘束を最小化するための指針」に則り,切迫性・非代替性・一時性の要件を満たすことを条件とし, 適正な手続きの下で実施する.また,代替案の推進,多職種連携を強化し職員教育を通じ拘束に依存しない安全で質の高い療養環境の提供を目指す.

2. 身体的拘束最小化委員会の目標・活動内容

〈拘束率年度目標〉

2025年度身体的拘束率の目標：15%以下

〈活動内容〉

・委員会開催回数：12回（毎月第4水曜）

・身体的拘束最小化ラウンド（毎週水曜）

ラウンド実施回数：49回

・6月9日(月) 医局会に向けて「身体的拘束最小化について」説明会の実施

・研修（2025年度は全4回実施）

① 7～8月

「急性期における身体的拘束ゼロ病棟達成に向けて」動画視聴

② 9月17日(水)

中郡地域連携認知症セミナー

「MCIの早期発見およびその対応」

講師　湘南大磯病院 脳神経内科医師

高橋 若生副院長

③10月29日 (水)

「認知症看護および身体的拘束最小化の取り組みについて」

講師　湘南藤沢徳洲会病院

認知症看護認定看護師

浅岡 恭世 先生

④ 2月27日～ 3月31日

eラーニング受講

「身体拘束の最小化に向けた取り組み」

「認知症の人とのコミュニケーション」

〈活動結果〉

2025年度の身体的拘束率：平均12.9%で達成

3. 次年度の展望

・拘束ゼロに向けた代替案の推進と環境整備の強化

・拘束基準の明確化と統一「なんとなく拘束」をなくす

・職員の意識改革と倫理的視点の定着

「拘束は本当に必要か？」を問い続ける風土づくり

2025年度　各部署の身体的拘束率

	2025.4	2025.5	2025.6	2025.7	2025.8	2025.9	2025.10	2025.11	2025.12	2026.1	2026.2	2026.3	平均
3A	21.89	16.53	16.39	9.74	2.63	5.17	6.03	12.71	11.11	19.11	14.62	16.68	13.06
3B		29.44	11.28	8.47	11.69	11.31	10.46	12.94	8.12	14.61	12.72	19.84	13.5
3C	32.27	31.26	23.18	17.2	23.59	8.64	7.82	8.9	6.7	10.93	19.58	12.26	16.56
4C	29.78	30.88	18.23	26.73	24.31	26.39	26.89	25.11	28.38	8.37	18.81	26.34	24.19
5A	9.32	5.52	5.3	10.73	10.02	14.02	18.53	13.52	8.91	5.41	6	5.82	9.53
当院平均	20.45	19.77	13.46	11.63	12.28	10.32	11.37	11.91	9.15	11.59	12.77	13.23	12.92

